

QUEENと英国のベストセラー放送作家、映画スターが実現させたロック・ミュージカル

『WE WILL ROCK YOU』は、QUEENのメンバー、ブライアン・メイ<g>とロジャー・テイラー<ds>が、構想、ステージ・デザイン、各国のキャストやミュージシャンのオーディションに至るまで全面的に監修していることでも話題の作品。つまり、軸となる音楽を作ったご本人がしっかり作品に関わっているお墨付きのミュージカルなのだ。

脚本を担当したのは、英国人らしいユーモア・センスに溢れたベン・エルトン。彼は80年代に頭角を現わした英国のコメディ作家兼俳優で、23歳の時に数々の賞を獲得したBBCのヒット・コメディ(しかもロック色いっぱい)『THE YOUNG ONES』の脚本家の1人として参加。1995年には『THE THIN BLUE LINE』で英国コメディ賞を獲得。1988年には初の小説『STARK』を出版し、1992年にこの小説を映画化し、俳優としての活動も始め、同年ケネス・ブラナー監督・主演の『MUCH ADO ABOUT NOTHING(から騒ぎ)』に出演している。2000年にアンドリュー・ロイド・ウェバーの『THE BEAUTIFUL

GAME』に脚本と作詞で参加して初めてミュージカルと関わり、『WE WILL ROCK YOU』はミュージカル作品としては2作目にあたる。

ステージセット関係では、照明デザイナーにU2やデイヴィッド・ボウイらのライブでのライティングを担当したウィリー・ウィリアムズ氏、プロダクション・デザイナーに、ROLLING STONES、PINK FLOYDらのステージ・デザインを担当したマーク・フィッシャー氏を起用し、ライブ・コンサートのような雰囲気を作り上げている。

さらに、伴奏はすべてナマ演奏。キーボード奏者、ギタリスト、ベーシスト、ドラマー、パーカッションに8人近くのミュージシャンによって毎回プレイされる。ちなみに、オリジナル・ロンドン・キャストでの上演中、『ドミニオン・シアター』でベースを弾いていたのは、WHITESNAKEなどのメンバーとして知られたニール・マーレイだった。何が凄いて、演奏され



▲左からベン・エルトン、総製作費15億円のうち9億円を出資したロバート・デ・ニーロ、QUEENのブライアン・メイとロジャー・テイラー。photo of original London production by Catherine Ashmore and Dave Bernell

る楽曲自体のアレンジは殆ど損なわれておらず、リード・ギターやキーとなるリードのフレーズはアルバムで聴く殆どそのままがプレイされるから、QUEENが残した多重録音が多音で再現されるわけで、そういったところに、QUEENの楽曲へのリスペクトとエンターテインメントとしての完璧さが現われているとも言えそうだ。

CAST OF 『WE WILL ROCK YOU』 IN JAPAN

ACTORS



Robert Grubb
ロバート・グラブ

Pop/ポップ

1978年にオーストラリア国立演劇学院(NIDA)を卒業後、舞台、映画、TVと幅広く活躍。ミュージカルでは『マンマミーア!』『サンセット・ブルヴァード』にも出演。また、2004年にTVドラマ化、全米で放映されたステイヴン・キングの『SALEM'S LOT』にも出演している。



Ross Girven
ロス・ギルヴェン

Khashoggi/カショーギ

22年のキャリアを誇るニュージーランド随一の多才多才の俳優。演劇、映画、TV、ミュージカル、オペラ、ラジオの各方面で活躍。ミュージカル出演作は『キャッツ』『キャバレー』『ジーザス・クライスト・スーパースター』など。オペラ出演作は『蝶々夫人』『セビリアの理髪師』など。また、これまで数多くのバンドにも在籍し、成功を収めている。



Peter Murphy
ピーター・マーフィー

Galileo/ガリレオ

3歳で舞台デビュー、9歳でクイーンズランドのTV番組にプロの俳優として出演。ミュージカル・デビューは1988年。昨年は『ジーザス・クライスト・スーパースター』のスカンジナビア・ツアーで主役を演じ、『レ・ミゼラブル』『レント』『フェイス』にも出演。その他、コメディアンとしても活動、自ら脚本も手掛け、作曲家としてもロック・ミュージカルを作るなど多才。



Pippa Grandison
ピパ・グランディソン

Scaramouche/スカラムーシュ

パース出身。舞台演劇から始まったキャリアはその後、TV、映画と広がり、『COME IN SPINNER』『GOLDEN FIDDLES』といったABC制作のミニ・シリーズにも多数出演。また、自ら結成したバンド、LADYKILLERは先頃デビューEP『BOYS ARE CONTAGIOUS』をリリースしたばかり。



Annie Crummer
アニー・クラマー

Killer Queen/キラー・クイーン

タヒチ人の母親とクック諸島出身の父親の間に生まれ、ニュージーランド在住。16歳でレコード・デビュー、1993年に『Warner Music』よりリリースした『LANGUAGE』はブラチナムを記録。これまでに数々の賞を獲得、オーストラリアのレコード業界組織『ARIA』の1996年度最優秀女性アーティストにもノミネートされた。ミュージカルでは1998年『レント』に出演。



Daniel Fletcher
ダニエル・フレッチャー

Britney (Brit)/ブリトニー(ブリット)

ニュージーランドのウェールズ大学美術学部を卒業後、1997年にメルボルンに移住し、ダンスと音楽劇の学位を取得。近年は『十二夜』に出演。また、シェイクスピア劇のツアーをオーストラリア全土で行ない、『ロミオとジュリエット』『真夏の夜の夢』『マクベス』などで大役を演じた。TVにも多数出演する大のQUEENファンである。



Rebecca Jackson Mendoza
レベッカ・ジャクソン・メンドーザ

Oz/オズ

オーストラリア版とドイツ版の『ミス・サイゴン』をはじめ、数多くの作品に出演。最近では『ヘアー』のツアーにも参加。ミュージカルと同等に歌と作曲を愛し、妹とポップ・グループ、JACKSON MENDOZAを結成。シングル『Venus Of Mars』『Ordinary Girl』でヒットを飛ばした。ジャズとソウル・ミュージックも歌いこなし、ジャズ・バーでその歌声を披露している。

BAND



Guy Simpson
ガイ・シンプソン
音楽監督/キーボード



John Routledge
ジョン・ルートルレッジ
音楽副監督/キーボード



Paul White
ポール・ホワイト
指揮者助手/キーボード



James Barber
ジェームス・バーバー<g>



Simon Croft
サイモン・クロフト<g>
(AC/DCのオリジナルVo、デイヴ・エヴァンスが昨年発表したアルバム『SINNER』でもプレイ)



Hugh Fraser
ヒュー・フレイザー



Andrew Swann
アンドリュー・スワン<ds>



Steve Falk
スティーブ・フォーク<perc>